



2010年度神戸地区のテーマ
「共同体を育てよう」

山岳民族村体験学習記 (2)

赤波江 豊神父

3月1日(月)村に学校はなく、そのため小中学生たちは月曜から金曜まで15キロ離れた寄宿舎で生活する。金曜まで小中学生たちの声が聞かれないのは寂しい。今日から教会の参道造りが始まった。教会は小高い丘の上にあるが、その坂道がかなりの急勾配で息が上がる。おまけに階段もない。村の人はいつものことなので平気だが、日本人には結構きつい。それで村の人たちと参道を造ることになった。スコップや鍬で地ならしをしたが、今日は日差しがかなり強い。汗が滴り落ちる。

夕方水浴びと洗濯を終えたら家のおじいさんが、「あと何日かしたらお前はもう帰ってしまうのか」と寂しそうに言う。あと何日かいるというのに、何ともう寂しがっている。このおじいさん(ブンタさん74歳)は8人の子供に恵まれ、今一緒にいるのはおばあさん(ノックブさん60歳)と息子さん(サワットさん26歳)とその奥さん(チャヤダーさん26歳)と二人のお孫さん(ダンナイ君4歳とタナワット君3歳)だ。おじいさんの娘さんのうち1人はカルメル会の修道女で、タイ南部のスラターニーという町にいるらしい。誓願式の写真を嬉しそうに見せてくれた。夕食にはこの村にあるはずのないソーセージなどが出ている。聞いてみたらあの埃だらけのでこぼこ道をわざわざバイクで1時間以上もかけて町まで買いに行ったらしい。申し訳ない気持ちだが、感謝の心でいただく。ちなみに山岳民族の人たちは客を迎えた場合、まず客に食べさせ、その後で自分たちが食べる。日本人としては一緒に和やかに食べたいのだが、ここでは彼らの伝統に従う。

3月2日(火)朝、村の人が家を新築したというので皆で祝別式に行った。お祈りの後家の人がお祝いにウドンをご馳走してくれた。鶏のダシのよくきいていてすごくおいしい。神学生がビ・ドマ(カレン語ですごくおいしいの意味)を連発しながら何杯もお代わりをしている。ところで山岳民族のカレン人は公用語としてタイ語を用いるが、家ではカレン語で会話する。一緒にいた大学生は昨晚1時まで家の人にカレン語を教えてもらったと言って、カレン語がびっしり書かれたノートを見せてくれた。今までこんなに真剣に外国語を勉強したことはなかったと話しながら、彼もさかんにウドンをすすっていた。

今日は村の中を流れる川に教会への参道造りのための石を集めに行った。この石をセメントでつないで階段にする。日差しはきついが、水は冷たくて気持ちがいい。村ではこの川の水を貯水槽にためておいて飲料水にする。この村は乾季でも水に恵まれていて、いつでも自由に使える。タイ北部のメーホンソン地方は水は良質で、生水を飲んで病気になった話しは聞いたことがない。夜、青年たちが最終日に披露する「よさこいソーラン節」の練習をしている。一緒に踊りたいが、青年たちのパワーの前にしり込みする。最初村に来た晩は寒かったが、今夜はさわやかだ。この村にも夏が本格的に到来しているのが分かる。

3月3日(水)朝、ある家に全員で食事に招かれた。行ってみたら何事かと思うような大ご馳走で10種類以上のおかずの上に、普段は村人がめったに口にしないコーラやスプライトとデザートのお菓子まで用意してくれている。何気なしにフォークやスプーンを見るとこれも真新しい。わざわざこの日のために買ってくれたのだろう。感謝をこめて皆でビ・ドマを連発しながらいただいた。

今日も作業は教会の参道造り。川で拾ってきた石を積み重ねてなかなかしゃれた石段ができた。しかし空気が乾燥していてけっこう埃が舞い上がり、それが汗にしみ込む。この地方の寒暖の差か、疲れからか、今日は日本人が2人ほど風邪でダウンしている。

教会の典礼ではまだ四旬節だが、じつは村ではもう聖週間が始まっている。というのは、この地方では1人の司祭が受け持つ教会が多く（場合によったら1人で50近い教会を担当している司祭もいる）、そのため復活祭やクリスマスの頃にそれぞれの教会でミサができないので、日をずらしてミサをしている。今夜はこの村で聖木曜日の典礼が行われた。ミサの中で洗足式も行われた。普通日本人は靴下と靴を着用しているので、日本人の足はきれいだ。しかし山岳民族は素足に質素なサンダルで埃だらけの道を歩き、畑を耕している。彼らの足はごつごつしてお世辞にもきれいとは言えない。洗足式にも普段の足で来た。足を洗ってあげることの本当の意味が理解できた。

教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝

赤波江 豊神父

典礼チーム

典礼チーム長

典礼チームは年間を通してミサ典礼の充実をはかり、共同体が一致して神への賛美と祈りを捧げることができるように、次のような仕事を担っています。

- (1) ミサの準備と後片付け
- (2) 照明、空調、マイク等の確認
- (3) 聖体奉仕者、先唱者、朗読者、答唱歌唱者の当番表作成と依頼
- (4) 『聖書と典礼』、ホスチア、ブドウ酒、ロウソク、特別献金袋(復活祭、降誕祭、被昇天など)の注文および準備
- (5) 祭服、祭壇布、清浄布、聖体布の管理
- (6) 結婚式、葬儀告別式の準備と後片付け
- (7) 聖歌の選曲と練習
- (8) 聖歌集・聖歌プリントの点検と補充および整理
- (9) 黙想会の企画、考案
- (10) 七五三、成人式などのお祝いのお知らせと準備
- (11) 司牧チームとの合同例会開催(毎月第2火曜日)
- (12) 主日、祝日、追悼祭などの盛花準備

この中で(1)、(2)、(5)は、以前からレジオの方たちが中心になって下さっています。(3)の聖体奉仕などの当番ですが、現在50余名の方たちに登録して頂いています。その中でも聖書朗読は、改めて聖書を深く味わう良い機会になりますので、1人でも多くの方がすすんで引き受けてくださることを望んでいます。

(7)にあります聖歌の練習は、毎週火曜日の午前10時15分から聖堂で行っています。ただ今メンバーはおよそ15名で、弱りつつある視力と戦いながら、なごやかに楽しく音符を追っています。こちらのほうも、少しでも歌うことに興味がありましたら、ぜひご参加ください。また時間的にこの練習に参加できなくても、ミサ中に答唱詩篇を1人で歌ってくださる方を常時募集していますので、こちらもよろしくお願ひします。また、聖歌の選曲も聖歌隊で行っていますが、どうしても偏ってしまいがちです。特にミサ曲はいつも決まった2種類に限られていますので、他の教会に行った時に違うミサ曲を歌っていて、戸惑われることもあるかもしれません。これらの点などでも何かご意見がありましたら、ご遠慮なくお寄せください。

(12)の盛花に関しては、土曜日の聖堂のお掃除当番にお願いしています。ただ、降誕祭や復活祭などの祝日は典礼チームで準備しています。花は生けたあとも水を入れ替えたりする必要がありますので、少しでも花に興味があつて協力して下さる方がおられましたら、ぜひ声をかけてください。

典礼チームに限らないかもしれませんが、いつも人手が足りない状況です。どんな仕事でも、少しでもお手伝いくださる方がおられましたら大歓迎ですので、積極的なお申し出を心からお待ちしています。

カトリック住吉教会 5 月度評議会議事録

日 時： 2010 年 5 月 16 日（日） 11:00 ～ 14:30

場 所： 第 2 会議室

出席者： 赤波江神父

議長、評議員、16 名

はじめの祈り： 議長

下記の議題に沿って審議した。承認。

議題

I. 新型インフルエンザ感染予防対策

基本的に昨年 5 月の教区基本方針を継続して遵守する。
現在の状況等をみながら適宜小教区としての対応を図っていく。
ご意見箱に「新型インフルエンザ対策」関連する意見があった。
月報に報告する。

II. 予定表スケジュール（6 月、7 月）の打合せ

各チームより 6 月・7 月度の変更及び予定報告。
電子版月報 6 月度には変更記載済み。

III. 2010 年度評議会運営方針。新年度にあたり下記を実施する。

- ・ 司祭、評議員、今年度主要推進目標の策定
- ・ 各自が何を主要目標とするか 2 ～ 3 点決定
- ・ 役員担当システムの推進

IV. 2010 年度具体的テーマ

1. 議長

- ①教会建物維持管理、特に聖堂・ホール雨漏り修理対策
これは設計上の重大且つ複雑な問題である。
大阪大司教区に相談して、小教区、教区、設計会社、建設会社合同で検討する
- ②教会「十字架」を建立の検討（信徒全員の意見聴取）
- ③教会要綱（ハンドブック）検討

2. 副議長・書記・所轄事項

- ①地区評議会への交互出席
- ②合同役員会への出席（中央教会/住吉教会）

3. T 副議長

- ① 新型インフルエンザ対策・ 顧問 T 先生
- ②教会主日等車両使用・管理基準（北側・園庭）策定。
- ③教会鍵管理及び、施錠開閉管理基準策定
- ④教会聖堂・ホール雨漏り修理対策

4. K 副議長

- ①教会維持費、献金増強対策
- ②社会活動チーム体制、炊き出し体制策定（ローテーションを組む）
- ③教会要綱（ハンドブック）検討

5. H 副議長

- ①教会要綱（ハンドブック）検討
- ②ミサの後のふれ愛喫茶の体制（「ミサゴ」後の新体制）
- ③担当（所轄）各チームとの連携
- ④祝祭日に各地区のローテーションへの連携

6. T 副議長

- ①2010年度バザー実行委員長、準備推進総括
- ②ミサの後のふれ愛喫茶の体制（「ミサゴ」後の新体制）
- ③担当（所轄）各チームとの連携

7. 書記

- ①評議会議事録作成
- ②教会ホームページ運営管理委員会（特別委員会）（副委員長業務）
- ③ミサの後のふれ愛喫茶の体制（「ミサゴ」後の新体制）

8. 司牧チーム長

- ①レジオ・マリエの近・中・長期課題
- ②祈念堂管理、通夜・葬儀、家庭集会のあり方
- ③要員増強・祈念堂管理委員会委員に議長を追加

9. 宣教チーム長

- ①宣教基本方針策定
- ②実行方針策定
- ③要員増強

10. 典礼チーム長

- ①主要典礼（大祝日ミサ）等のマニュアル化（先唱のマニュアル化）
- ②新規活動方針の検討
- ③教会内のお花の管理

11. 営繕チーム長

- ①営繕チーム員の募集、増強
- ②日常営繕業務、各種検査の年間計画策定
- ③ゴーヤ・植木鉢(教会外)管理

12. 広報チーム長

- ①広報チーム全体の日常の流れのまとめ
- ②新規活動方針検討
広報の流れを考えて新人の要請等、次世代への対応を図る。
他教会との横のつながりを作り、情報等の交流を図る。

13. 養成チーム長

- ①中高生の養成、活性化
- ②地区、小教区養成、小教区集会祭儀司式者等の研修、任命まとめ。
住吉教会聖体奉仕者の研修・修了書・任命書のまとめ。必要な補講を行う。

14. 財務チーム長

- ①教会財務に関する、維持費、献金等の増強対策
- ②教会維持献金等将来の必要事項の検討

15. 社会活動チーム長

- ①社会活動チームの活動内容のまとめ、整理
- ②炊き出し体制の強化

16. 施設管理チーム長

- ①教会施設の中長期管理の基本案策定
- ②教会聖堂・ホール天井の雨漏り対策

17. 教会学校長

- ①教会学校のあり方などの基本案策定
 - ・将来どのようにしたらよいかを頭に入れてやっていく。
 - ・子供達が神様とのかかわりを楽しみながら、後でよい思い出として残るように考えている。
 - ・堅苦しい考えをなくし、ルールで固めずできる限りベストを尽くす。
 - ・何かアイデアがあればよりよい方向性に持っていく。
- ②各種、児童活性化の催しの年間計画

18. 青年学生チーム長

- ①青年学生チーム活性化のための基本方針

19. 国際チーム長

- ①住吉教会との連携 — セニョール・デ・ロス・ミラグロスの実施 (10/17)

20. 松谷幼稚園長

- ①教会との連携施策 (年間予定表提出)

V. その他

- ・6/13の東ブロック大会 王子動物園ウォークラリー・小さき花の幼稚園 炊き出し (住吉教会)
- ・5/23よりミサゴをはじめ。 (第2・4日曜日) お手伝い募集
- ・5/11よりバザー準備 (手芸) 打合せが始まる。 (第2・4火曜日) お手伝い募集

終わりの祈り： T 委員

以上

ご意見箱 今月は2件ありました

1. ミサで「先唱で聖体を手で受けて下さいというアナウンスがあるため、聖体を受けることができない」というご意見がありました。

* 回答

先唱で「聖体は手で拝領して下さい」というアナウンスは、信徒全体のインフルエンザ感染予防の観点から皆さんにお伝えしているものです。

信仰の立場から皆様それぞれにお考えもおありでしょうが、住吉教会評議会の方針をご理解いただき守っていただければ幸いです。

住吉教会は今後も継続して教区方針を遵守していきます。

2. 「投書用紙の設置をお願いします。書くことを思いついても、紙がないとすぐには書けず、そのままになってしまいます」

*回答

投書用紙を作成する方向で前向きに検討します。 (文責・議長) 以上

お知らせ

1. 6月5日(土)「炊き出し」(住吉担当)はありません。
(キリスト教他教派の方が担当するため)
2. 6月13日(日)は「東ブロック大会」が開催されます。ぜひご参加下さい。
六甲教会、神戸中央教会、住吉教会の三教会の児童と大人が参加します。(全員無料)
(当日は各小教区の主日のミサは行われます)
基本的には子供を中心とした企画になりますが、一緒に回る大人の方を募集しています。
 - ① 9:00 王子競技場正門前集合(詳しくはチラシをご覧ください)(名前事前登録願います)
 - ② 9:30頃 王子動物園 ウォークラリーで園内を回ります。
 - ③ 11:30頃 小さき花の園幼稚園(旧灘教会隣接)へ移動します。
 - ④ 12:00~13:00頃 昼食 おにぎり+おやつ
 - ⑤ 13:00~14:00頃 「ミサ」が六甲教会の片柳神父様の司式であります。
 - ⑥ 「大好きなマザーテレサ」や聖歌を歌います。
3. 神戸バイブルハウス主催「第1回聖書と教会の旅 韓国4日間 ~韓国聖書協会を訪ねて~」
 - ① 「7月21日(水)~24日(土) 三泊四日」の韓国旅行です。
バイブルハウスではエキュメニカル(キリスト教会一致運動)な観点から、毎年超教派での旅行を①冬季海外巡礼旅行(約10日間)、②秋季国内巡礼旅行(三泊四日)を年二回実施しています。
第3番目の企画としてこのたび「ミニ海外旅行」を企画しています。
 - ② 韓国旅行の概要は「7月21日(水)~24日(土)の三泊四日韓国ソウルの旅です」
韓国では①韓国聖書協会訪問や②教会めぐり③世界遺産観光④ショッピング等です。
教会では①明洞のカトリック大聖堂や②ソウルからバスで約1時間半位南の忠清北道にある有名なカトリック教会(GAMGOK MAEGOE VIRGIN MARY CATHOLIC CATHEDRAL)等を訪問します。カトリックからは副団長としてシリロ神父様が参加されます。
 - ③ 旅行代金は69,500円です。(2名1室、燃油サーチャージ、空港税等は別料金)
教会訪問や世界遺産観光、買物等特別な新しい企画です。
 - ④ 問い合わせ、申込は日本通運(株)神戸旅行センター、電話078-252-4055、
 - ⑤ FAX 078-252-4088です。 以上